

成田空港活用協議会
平成27年度 事業報告
(資料編)

目 次

(1) 誘客促進事業

- ア 国内線就航先との交流促進 1
- イ 海外向け誘客促進事業 14

(2) 空港利用促進事業

- ア 関東圏でのナリタPR 16
- イ 県内・首都圏でのナリタPR 23
- ウ 会員向け利用促進 28

(3) ビジネス支援事業

- ア 経済活性化セミナー 29
- イ マーケットリサーチ 33

(4) 要望活動 35

(5) 会員提案の募集・具体化 37

(6) その他 38

(1) 誘客促進事業

ア 国内線就航先との交流促進

北海道との交流促進事業

平成25年度、26年度と実施してきた北海道との交流をさらに促進するため、平成26年度の意見交換会で確認した、教育旅行のPRの場のセッティングやゴルフ・パークゴルフを活用した相互交流、道県連携したPRの実施などについて具体的な検討を行い、実施可能となったものから順次実施した。

[展開]

北海道との交流促進にあたっては、北海道側等と具現化に向けた協議を進め、順次具現化を図った。

1 ゴルフ・パークゴルフを通じた交流促進

①北海道におけるPR

千葉県が行うチーバくんキャラバン隊と連携して、「この冬は、LCCで成田空港を使って、気軽に千葉でゴルフ・パークゴルフをしよう！」をテーマに、北海道新聞等札幌の新聞社やフリーマーケットを訪問し、PRを行った。

日程 新聞社：10月2日（金）、フリーマーケット：10月3日（土）

訪問先 新聞社：北海道新聞、道新スポーツ、日刊スポーツ、スポーツニッポン
フリーマーケット：ゴールデンマーケット（札幌市 つどーむ）



パークゴルフクラブを持って北海道新聞社の取材を受けるチーバくん

[メディア露出] 5件

- 新聞 スポニチ（10月3日）、日刊スポーツ（10月17日）
道新スポーツ（10月21日）、北海道新聞（1月10日）
- その他 どうしんウェブ（10月3日）

②北海道・千葉パークゴルフ交流大会及びモニターツアー

増大するアクティブシニア層をターゲットとして、北海道と千葉県の双方で盛んなパークゴルフを活用した継続的な相互交流を推進するため、「北海道・千葉交流パークゴルフ大会 IN 千葉2016」と交流会を開催した。

また、大会の開催にあわせて、新千歳からLCCで成田空港を使って千葉県で観光とパークゴルフをプレーするモニターツアーも併せて実施した。

《パークゴルフ大会》

- ・日 時：平成28年3月11日（金）9：00～14：00
- ・場 所：蓮沼海浜公園パークゴルフ場
- ・内 容：

開会式

- ・主催者挨拶（千葉県レクリエーション都市開発(株)池田社長）
- ・来賓あいさつ（千葉県パークゴルフ協会連合会高木理事長）
- ・ルール説明（千葉県パークゴルフ協会連合会末木事務局長）

記念撮影

競技

表彰式（男女とも1位から10位及びラッキー賞、BBを授与）

- ・参加者：計160名
北海道からのモニターツアー参加者 40名
公募した千葉県のパークゴルフ愛好者 120名



記念撮影



プレー風景



表彰式

《交流会》

- ・日 時：平成28年3月11日（金）17：00～18：30
- ・場 所：蓮沼ガーデンハウスマリーノ
- ・内 容：主催者挨拶（石井会長）
地元歓迎あいさつ（椎名山武市長）、
乾杯（菅田日本パークゴルフ協会副会長）
千葉県産品などのプレゼント抽選会など
- ・参加者：
パークゴルフ大会参加者
北海道経済連合会、北海道側パークゴルフ関係者
千葉県パークゴルフ協会連合会、関東パークゴルフ場協議会
千葉県、山武市、成田国際空港㈱ など 94名



石井会長あいさつ



プレゼント抽選会では、椎名山武市長から山武杉で作ったクラブの模型をプレゼント



えべつ角山パークランド（北海道江別市）の
日高社長が北海道のパークゴルフ場をPR



交流会風景

《モニターツアー》

北海道・千葉パークゴルフ交流大会の開催にあわせて、LCCや千葉県でのパークゴルフを体験していただくモニターツアーを実施した。

- ・日程：平成28年3月10日（木）～12日（土）
（募集期間：12月25日（金）～2月5日（金））
- ・代金：49,800円
- ・定員：40名（募集後、短期間に定員となり締め切り）
- ・旅行実施・企画：(株)JTBコーポレートセールス（協議会会員）
- ・利用航空会社：ジェットスター・ジャパン(株)（協議会会員）
- ・ツアー行程：

日次	月日	行程	食事
1日目	3月10日 (木曜日)	8:30頃 新千歳空港→成田空港＝ホテルにて昼食＝蓮沼海浜公園 パークゴルフ場(ホテル併設36ホール)＝ホテル 宿泊先：蓮沼ガーデンハウス マリーノ	朝 <input type="checkbox"/> × 昼 <input type="checkbox"/> ホテル 夜 <input type="checkbox"/> ホテル
2日目	3月11日 (金曜日)	午前：蓮沼海浜公園パークゴルフ場にて 北海道・千葉交流パークゴルフ大会開催／表彰式 午後：自由時間（パークゴルフもお楽しみいただけます） 夜：交流会（千葉からも多くのパークゴルフ愛好者が参加） （千葉県産品などが当たる抽選会も開催） 宿泊先：蓮沼ガーデンハウス マリーノ	朝 <input type="checkbox"/> ホテル 昼 <input type="checkbox"/> 弁当 夜 <input type="checkbox"/> ホテル (交流会)
3日目	3月12日 (土曜日)	8:30 ホテル＝海の駅九十九里＝イチゴ狩り(山武市) ＝しすいの森パークゴルフ場(36ホールのコース)＝成田山 新勝寺＝成田空港→新千歳空港(19:50頃)到着後各自解散	朝 <input type="checkbox"/> ホテル 昼 <input type="checkbox"/> 弁当 夜 <input type="checkbox"/> ×



山武市でのイチゴ狩り



成田空港から帰途に

[アンケート結果] n = 41名

○ツアーの満足度について

満足：29名 やや満足：10名 普通：1名 無回答：1

○新千歳―成田間を多くの航空便（1日15往復）が就航していることについて

利用したことがある：8名 知っていたが利用したことはない：10名

知らなかった：23名

[参画会員] 泉観光バス(株)千葉営業所、(株)JTBコーポレートセールス、ジェットスター・ジャパン(株)、千葉県レクリエーション都市開発(株)、(株)トヨタレンタリース千葉、成田国際空港(株)、大本山成田山新勝寺、千葉県、山武市

[メディア露出] □新聞 朝日新聞(3月13日)

2 道県連携したPR

11月7(土)、8日(日)に実施したつくば市のショッピングモール「イーアスつくば」でのプロモーションにおいて、ポスターの掲示とチラシの配布により北海道の観光PRを行った。

また、女子旅×成田LCC冊子を、北海道庁の協力を得て、北海道内の大学(北海道大学、小樽商科大学、天使大学、藤女子大学、北星学園大学)に、合計1500部設置



「イーアスつくば」における北海道の観光PR

3 北海道側からの教育旅行PRの場のセッティング

千葉県高等学校長協会の理事会において、北海道観光振興機構が教育旅行に係るプレゼンテーションと教育旅行研修会(招へい事業)の説明を実施。

日時:平成27年9月4日(金) 午前9時～

場所:千葉県教育会館

参加者:高等学校の校長 約50名



北海道観光振興機構からの
プレゼンテーション

[総括]

- 平成25年、26年度と実施した北海道の経済・観光団体等との意見交換を踏まえ、協議会会員や北海道側の経済団体等と連携して、ゴルフ・パークゴルフのPRやパークゴルフ大会・モニターツアーの実施、教育旅行のPRの場のセッティングなどを実現することができた。
- 特に、パークゴルフ大会・モニターツアーでは、北海道と千葉のパークゴルフ愛好者がともにプレーしたり、交流会で懇親を深めた他、北海道・千葉県のパークゴルフ関係者も参加いただき、今後の継続的な交流への足掛かりとすることができた。
- また、モニターツアーでは、普段あまりLCCに馴染みのないシニア層に、LCCを体験していただいたが、ツアーの満足度についてのアンケートでは、約98%の方が「満足」または「やや満足」と回答しており、概ね好評で、今後は、成田LCCを使って、気軽に千葉に来て、パークゴルフをプレーしたいという言葉が数多く寄せられた。
- 一方、道・県の共同プロモーションでは、平成28年3月26日の北海道新幹線の開通に向けて、北海道側は、新幹線を重点的にプロモーションするという方針だったことから、十分な連携が取れなかった。

学生コンテスト最優秀アイデアの具現化

若者目線によるナリタファン拡大を図るため、昨年度の学生連携事業で生み出された最優秀アイデア『女子旅で！学生に成田ブームを巻き起こせ！！』を学生の主導的な参画のもとで事業化。

若者目線でのガイドブックの製作、コミュニケーションツール（SNS）の活用、これらを全面的に用いた就航先プロモーションを学生自らが行うことにより、成田空港の利用促進を図るとともに県内の新たな魅力を発掘し、多数のメディア露出を図りつつ、LCCを使った旅行需要の喚起を行った。

〔展開〕

1. 「全体ミーティング及びLCCとの意見交換会」実施について

時期：平成27年9月3日（木） 場所：成田空港内会議室

○全体ミーティング

- ・6月に実施した、キックオフミーティング以降「ガイドブックチーム」、「プロモーションチーム」に分かれ企画検討を進めており、それぞれの進捗報告やSNS展開についての意見交換を実施した。（学生15名参加）

○LCCとの意見交換会

- ・学生たちがLCCへの理解を深めることが企画進行に重要であると考え、協議会会員である国内LCC3社（ジェットスター・ジャパン(株)、春秋航空日本(株)、バンナ・エア(株)）のプロモーション担当者をゲストに学生との意見交換会を実施した。



全体ミーティング及びLCCとの意見交換会の様子

[メディア露出] 3件

- 新聞 千葉日報（9月9日） 産経新聞（9月21日）
- テレビ チバテレビ（9月3日）

2. SNS展開について

- 平成27年9月11日から Facebook ページを開設し、「女子旅×成田LCC」をロゴに「成田LCCで女子旅」というアカウント名で活動中。
- 企画の説明、LCCの説明、千葉県内おすすめスポット情報、女子旅情報などを紹介していく。
- 平成27年度に66投稿を実施した（リーチ数89,415、平均リーチ数1358）



Facebook ページ



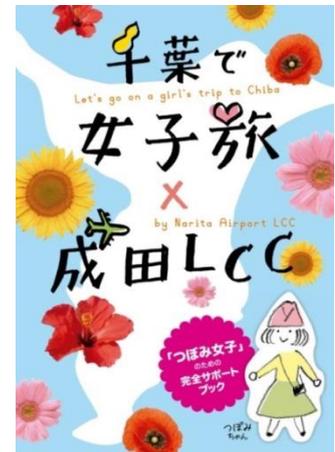
アイコン

3. 【千葉で女子旅×成田LCC】冊子について

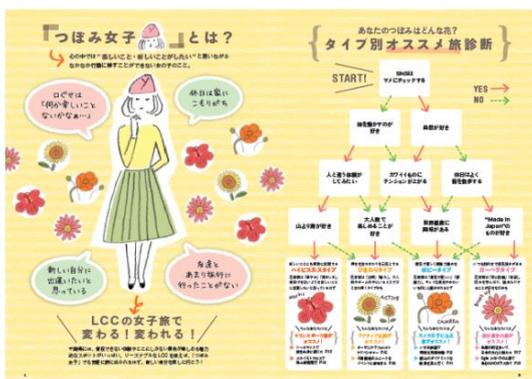
発行日：平成27年12月11日（金）
 仕様：A5判、24P 発行部数：3万部

■冊子概要

- ・「つぼみ女子の紹介」から「タイプ別おすすめ旅」、「Wish List」などを通し、ひと花咲かせるまでを案内。
- ・LCC紹介ページではLCCを知ってもらい、予約から搭乗までをサポート。
- ・千葉県紹介ページでは学生目線で選出したスポット7か所を紹介。



表紙



つぼみ女子紹介ページ



LCC 紹介ページ



千葉県体験紹介ページ（佐原）

■設置場所

- ・各道県のご協力により、北海道、香川、愛媛、佐賀、大分、熊本の大学等に設置（約 8, 0 0 0 部）、成田国際空港㈱などが実施する就航先でのプロモーションでの配布、一部県内でも配布した。
- ・成田空港活用協議会HP内にダウンロードページを作成し、自由にダウンロードできるよう展開。
- ・平成27年度内で2万部配布した。平成28年度のプロモーションで1万部配布予定。

4. 広島・札幌におけるプロモーション活動について

■プロモーションに先立った知事表敬訪問

時期：平成28年1月13日（水）

- ・石井会長とともに、学生7名が、広島及び札幌のプロモーションに先立って、森田知事を表敬訪問した。
- ・知事からは、「感受性の強いみなさんが、千葉県の魅力をどんどん発信してほしい」との激励の言葉をいただいた。



知事が直接学生を激励



集合写真

[メディア露出] 9件

- 新聞 読売新聞、産経新聞、日経新聞（1月14日）
朝日新聞（1月16日）、千葉日報、産経新聞（1月17日）
東京新聞（1月19日）
- テレビ チバテレビ（1月13日、16日）

■広島でのプロモーション活動

時期：平成28年1月22日（金）～1月24日（日）

- ・広島県学生との意見交換会を実施（広島県担当者も出席）
- ・『広島空旅！2016』（場所：紙屋町シャレオ中央広場）において、冊子の配布活動やステージイベントへ参加した。

※成田国際空港㈱、春秋航空日本㈱の参加するブースでの共同プロモーション

- ・広島県の協力により、広島県内7大学へタダコピ（大学内設置の無料コピー機でコピー用紙の裏面が広告になっている）を実施した。
- ・広島県内大学へ冊子の設置依頼を行い、155部設置した。
- ・広島の女子学生が紹介する広島女子旅企画を実施し、Facebookで紹介した。
- ・広島県の学生2名を千葉に招待しての女子旅ツアーを実施した。

（平成28年3月21日（月）～3月22日（火））



タダコピデザイン



意見交換会の様子



意見交換会集合写真



広島空旅！2016 ステージイベント



Facebook パネル



広島での女子旅（尾道）



広島での女子旅 Facebook での紹介画面

■札幌でのプロモーション活動

時期：平成28年2月20日（土）～2月21日（日）

- ・札幌の大学生、会員エアライン2社（ジェットスター・ジャパン(株)、バニラ・エア(株)）との意見交換会を実施した。
- ・札幌駅前通地下広場『チ・カ・ホ』イベントスペースでのプロモーション活動を実施した。（Facebook パネルでの写真撮影、女子旅冊子400部配布）
- ・札幌女子学生が紹介する札幌女子旅企画を実施し、Facebook で紹介した。



意見交換会の様子（ジェットスター・ジャパン）



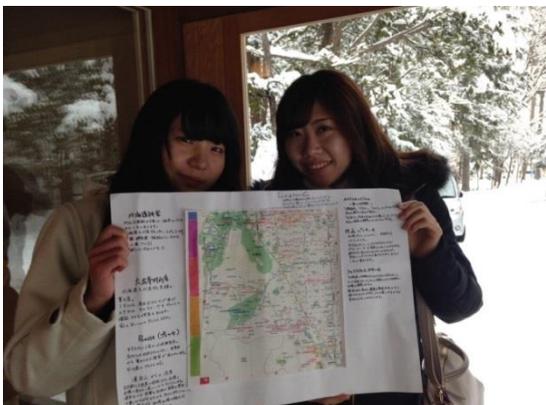
意見交換会の様子（バニラエア）



意見交換会（集合写真）



チ・カ・ホでのプロモーションの様子



札幌での女子旅



札幌での女子旅 Facebook での紹介画面



札幌北星学園大学ボランティア・コパン部のブログでの紹介

■モニターツアーの実施について

時期：平成28年3月27日（日）～3月29日（火）

○札幌テレビ「ジョシスタ あいく的」番組の招待、また、福岡、松山、広島からSNSにおいて情報発信力のある人3名を招待し、女子旅×成田LCCモニターツアーを実施した。

※以下の情報発信事業については、平成28年度継続事業として実施

○番組の放送は4月25日（月）、5月2日（月）深夜の2週に渡って放送された。

○福岡、松山、広島の3名については、SNSでLCCを使った千葉への女子旅の魅力について情報発信を行った。



成田空港第3旅客ターミナルビル



ロケ風景

鋸山

[参画会員]

ジェットスター・ジャパン(株)、春秋航空日本(株)、(株)ちばぎん総合研究所、成田国際空港(株)、(一社)成田市観光協会、バニラ・エア(株)、千葉県、成田市、

[総括]

- 昨年のアイデアコンテストからの流れを引き継ぎ、事業化に向けて引き続き参加表明をした学生が主体的に活動を実施した。
- 学生とエアラインとの意見交換に加え、千葉県観光誘致促進課などにも話を聞き、LCCや千葉県の魅力についての理解を深めることができた。
- サポートブックの作成にあたっては、学生がスポットの選定、体験をし、冊子レイアウトデザインの制作などを経て『女子旅×成田LCC』サポートブックを完成させた。
- プロモーションの実施にあたっては、知事への表敬訪問を行い、知事から熱い激励を受け、学生たちも大いに元気づけられた。
- 広島・札幌でのプロモーションに協力してもらえる現地の学生を探すところから、具体的に意見交換やプロモーションイベントの実施まで、学生が調整を行い実現させた。
- 現地の学生との意見交換会では就航先の学生にLCCや千葉県のことを理解してもらい情報発信してもらおうとともに、現地の学生の特徴や考え方などを学ぶことができ、大変有意義なものであった。
- Facebook ページなどの「いいね」数がまだ少ないことや、就航先の方にまで及んでいないなどの課題もあるため、WEBでの情報発信を強化していく必要がある。

イ 海外向け誘客促進事業

ランドオペレーターとの商談会・交流会の実施について

千葉インバウンド促進協議会と共催で、成田空港からの訪日外国人の県内誘客を目的に、ランドオペレーター（※）との商談会・交流会を実施した。

商談会では、両協議会の観光・宿泊・交通事業に係わる会員が、訪日外国人の増加が著しい東アジアや東南アジアの両地域を手掛けるランドオペレーターに直接働きかけることで、千葉県の魅力や成田空港の利便性を伝え、両地域からの更なる観光客の増加を目指した。

※ランドオペレーター

主に海外旅行で、宿や観光地、現地の交通手段など往復航空機以外の「地上手配」を専門に行う会社のこと。海外に支店等を持ち独自に地上手配のできる大手旅行会社以外は、現地に詳しいランドオペレーターに手配を委託しているため、旅行商品の造成にも大きく関わっている。



多くのブースが並ぶ会場の様子



各ブースでの商談の様子

[展開]

- 商談会では、ランドオペレーター15社に対し、32の会員企業・団体が参加した。会場にはランドオペレーターのブースを設置し、会員企業・団体が各ブースを回り商談を行った。
- 商談会は、1コマ10分で進行されたが、時間をオーバーする場面も見られた。また、商談会が盛況だったこともあり、急きょ商談の時間を1コマ増やしたが、それでも時間が足らず終了後も商談を続けている参加者もあった。

[メディア露出] 3件

- 新聞 日本経済新聞（12月3日）
- テレビ NHK（12月4日）
チバテレビ（12月4日）

[参加者等]

- 会 員 32団体(社) 47名 (千葉インバウンド促進協議会員を含む)
- 協力会員 千葉インバウンド促進協議会

[総括]

- 昨年度までは海外向け誘客促進事業においては旅行会社を招請していたが、商品造成に繋がらなかったため、実質的に手配を行っているランドオペレーターとの商談会を企画した。
- また、昨年度実施したインバウンド調査の結果から、千葉県への来訪者もアジア系が多いこと、千葉県にはまだまだ知られていない魅力が多いことが分かった。
そこで、東アジアや東南アジア地域を手掛けるランドオペレーターに直接働きかけることで旅行商品の造成につなげ、千葉県への誘客促進につなげる試みを実施した。
- 千葉インバウンド促進協議会との共催により、両会員の参加を促したことで、観光・宿泊・交通と幅広い会員事業者を呼ぶことが出来、活発な商談に繋がられた。
- 時間配分については商談会90分、交流会90分で実施をしたが、商談会の時間がやや足りなかったと考えられたため、時間配分について再考する必要がある。

(2) 空港利用促進事業

ア 関東圏でのナリタPR

北関東エリアにおける成田空港利用促進等プロモーション

6月7日の圏央道神崎IC-大栄間JCTの開通により、成田空港へのアクセスが飛躍的に向上し、多くの利用客が見込める北関東方面をターゲットにして、会員や就航先と連携したPR・情報発信を展開し、成田空港の利用促進を図った。

[展開]

1 つくば市におけるプロモーションイベント

- 「ぐっと近く！もっと気軽に！より便利に！圏央道とつながる成田空港」をテーマに、11月7日・8日の2日間、つくば市のショッピングモール「イーアスつくば」で、会員や就航先などがステージイベントと特設ブースでPRを行った。
- ステージイベントでは、11月7日は、協議会副会長である小泉一成成田市長と齊田正己成田国際空港(株)代表取締役副社長によるトークセッションに、森田健作千葉県知事と歌手の森口博子さんも応援に駆け付け、圏央道がつながり、つくばからのアクセスが向上した成田空港や千葉県などの魅力をPRした。

また、協議会会員企業や国内線就航先団体のステージでのPRタイムでは、それぞれの団体が、成田空港の利便性や成田空港へのアクセス、就航先の魅力のPRを行い、チーバくん（千葉県）やクウタン（成田空港）をはじめ、国内各就航先のご当地キャラクターが登場するなど、会場を大いに盛り上げた。



トークセッションで成田空港などの魅力をPRする小泉成田市長と齊田成田国際空港（株）副社長



応援に駆け付けた森田知事と森口博子さん



協議会会員の航空会社と国内線就航先が、
ステージで魅力をPR



ご当地キャラも会場を盛り上げました

- 特設ブースでは、協議会会員企業や国内線就航先団体がパネル・ポスターの展示やグッズ・チラシの配布などを行い、成田空港の利便性や成田空港へのアクセス、成田空港周辺や国内線就航先の魅力をPRした。協議会事務局ブースでは、各ブースの展示物と連動したクイズラリーを実施することにより、より多くの来場者に会員・就航先のブースに立ち寄ってもらい、PR効果を高めることができた。また、主なターゲットであるファミリー層に訴求するため、子供向けのイベントとして、飛行機アートやさかな芸人ハットリのライブを行った。

7日には、石井会長も来場され、各ブースの激励に回られた。



会員企業が成田空港への交通アクセスをブースで説明



クイズラリーの様子

- イベントの実施に向けて、新聞折込みをつくば市、つくばみらい市、常総市などに約9万部配布するとともに、ベイエフエムでは20秒CMを15回放送し、また、森口博子さんが、自身のベイエフエムの番組内でも本イベントを数回にわたって紹介してくれたこともあり、多くの方に、本イベントに参加していただくことができた。
- 森田知事が、11月7日のイベント当日には、ベイエフエムの生放送に出演し、千葉県や成田空港のPRを行った。
- イベントでは、クイズラリーやステージイベント、特設ブースでのイベントなどの直接参加者だけでも各日1,000人を超え、見学者を加えれば各日5,000人を超える参加者の方々にPRすることができた。

【イベント出展団体等】

協議会会員

(公財)航空科学博物館、ジェットスター・ジャパン(株)、春秋航空日本(株)、全日本空輸(株)、千葉県ゴルフ協会、千葉交通(株)、成田国際空港(株)、日本航空(株)、バニラ・エア(株)、(株)ベイエフエム、県立房総のむら、成田市、旭市

国内線就航先等

北海道、広島県、香川県観光協会・高松空港振興期成会、愛媛県、佐賀県、大分県、熊本県、沖縄観光コンベンションビューロー、奄美市、地域振興連絡協議会、国土交通省千葉国道事務所

[メディア露出] 3件

- 新聞 日経新聞 (11月6日)
- 常陽新聞 (11月12日)
- 日刊工業新聞 (2月29日)

2 成田空港親子見学バスツアー

- つくば市周辺の親子を対象に、圏央道の開通によりつくばから近くなった成田空港及びその周辺に親しむことにより、成田空港を身近に感じ、「ナリタファン」になっていただくため、通常では立ち入ることができないランプコントロールタワーや周辺の観光施設などを見学するバスツアーを実施した。

【実施日】平成27年11月28日（土）

【参加者数】つくば市周辺の親子19組44名

【募集方法】参加者は平成27年11月8日（日）に実施したつくば市におけるプロモーションの際に募集

【行程】

研究学園駅前（9時）→（圏央道経由）→成田空港（ランプコントロールタワー見学 10時～11時）→航空科学博物館（機内食風昼食、博物館内見学 11時～14時）→成田ゆめ牧場（14時30分～16時）→（圏央道経由）→研究学園駅前（17時） 解散

【協力会員】

（株）秋葉牧場（成田ゆめ牧場）、（公財）航空科学博物館、（公社）千葉県観光物産協会、東京空港交通（株）、成田国際空港（株）

【参加者の声】（参加者アンケート）

つくばから成田がとても近いことに驚いた。成田に来る機会が増えそう。
普段は入れないランプコントロールタワーに入れて良かった。
成田ゆめ牧場の滞在時間がもっと多い方がよかった。

【メディア露出】 2件

□新聞 日経新聞（11月26日）

朝日新聞（12月7日）



ランプコントロールタワー見学の様子



航空科学博物館では機内食風ランチを体験

3 茨城県、群馬県のイオンシネマにおける成田空港CMの放映

北関東の方に対して圏央道延伸により、「より近く！より便利に！」なった成田空港をアピールするため、映画上映直前のCM放送を実施した。

【時期】平成27年9月5日（土）～平成28年3月4日（土）

【場所】茨城県 イオンタウン守谷、イオンモール下妻
群馬県 イオンモール太田、イオンモール高崎

【対象】上記イオンシネマで放映する全作品

※航空機事故をメインテーマにしているものを除く

【視聴者】59万人



CM 放映の様子

4 筑波大学の大学祭パンフレットへの広告掲載

昨年度に引き続き筑波大学の大学祭（雙峰祭）のパンフレットに、若年層の旅行需要喚起を狙った広告を掲載。

【期間】平成27年11月6日（金）～11月8日（日）

【対象】大学祭来場者25,000人、発行部数11,000部



デザイン

5 宇都宮地域における共同PRイベント実施について

高速バスによる成田空港のアクセスが、圏央道開通によるルート変更に伴い大幅に所要時間が短縮された栃木県宇都宮市において、成田国際空港(株)と共同で成田空港のPRや、LCCでの気軽な旅行をアピールした。

※参考 宇都宮ー成田空港間バス 3時間から2時間30分へ(30分短縮)

【時期】平成27年9月21日(火)

【場所】栃木県宇都宮市「ベルモール」

【内容】エアライン等のブース展開、ステージイベント

スタンプラリー(各ブースと連動、プレゼント企画の実施)

【対象】イベント来場者 4,000人



イベントの様子

[メディア露出] □新聞 日経新聞(9月5日)

【総括】

○つくば市におけるプロモーションイベント

- 折込み広告やベイエフエムのCMなど事前のPRの効果もあり、また、内容も盛りだくさんで楽しめるものだったことから、多くの方の参加のもと、幅広く成田空港の利便性などをPRすることができた。
- また、多くの会員や就航先団体と協力してイベントを実施したことにより、会員間・会員と就航先団体との連携が深まった。
- 委託業者決定からイベントまで時間がなかったことから、会員との間で十分な意思の疎通ができず、運営に支障をきたした部分があった。

○成田空港親子見学バスツアー

- アンケートでも、参加したすべての方が満足したとの回答であり、つくばから成田空港へのアクセスの利便性のPRや「ナリタファン」の獲得には大きな効果があった。
- 滞在時間の配分についての意見が数件あったため、今後同様のツアーを実施するにあたっては、参加者を勘案して時間配分を見直す必要がある。
- ナリタファンの獲得に有効であることから、今後は、県民を対象にしたツアーも検討したい。

○その他のPR活動について

- つくばでのイベントに連動し、北関東エリアにおける空港アクセスの向上をPRするための展開を行い、映画上映前のCM放映については、多くの人に確実に見てもらえる媒体であったことから訴求力の高いものであった。また、筑波大学学園祭が、つくば市におけるプロモーションイベントと日程が重なっていたため、イベント告知も併せて実施することができた。
- イベント単発ではなく、様々な媒体と合わせキャンペーンを実施したことで、より多くの人へのアプローチができたと考えられる。

イ 県内・首都圏でのナリタPR

平成27年度成田空港利用促進キャンペーン

第3旅客ターミナルのオープンや圏央道の開通など、成田空港を取り巻く新しい環境変化を絶好のプロモーション機会と捉え、首都圏・千葉県内を対象に、豊富な国際航空ネットワーク、LCCによる国内線やアクセス利便性などの最新トピックを踏まえた空港利用促進キャンペーンを展開した。

県内・首都圏において、成田空港からの豊富な国際線・国内線ネットワーク等成田空港の利便性をPRした。

[展開]

1 県内向け利用促進プロモーション

①成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業連動プレゼント企画

【時期】平成27年8月17日（月）～9月30日（水）

【対象】乗車人数10,860人 応募件数5,998件

- ・無料高速バスに乗り応募した方の中から3組6名に国内往復航空券をプレゼント。また、外れた方から100名にも成田空港活用協議会オリジナルクオカードをプレゼントした。
- ・成田空港の国内線ネットワーク訴求のチラシを1万部作成し車内で配布するとともに、無料高速バスの専用ホームページからのリンクでも成田空港の充実したネットワークをPRした。



チラシデザイン

②県庁舎内パネル展示

【時期】平成27年9月14日（月）～9月30日（水）

【場所】千葉県庁舎内（1階連絡通路）

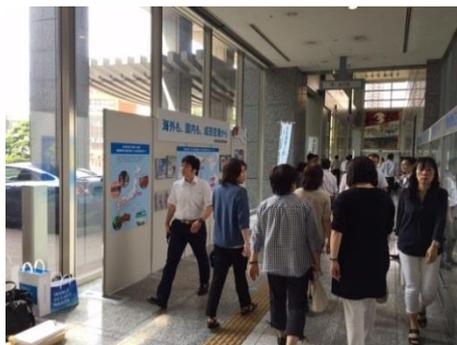
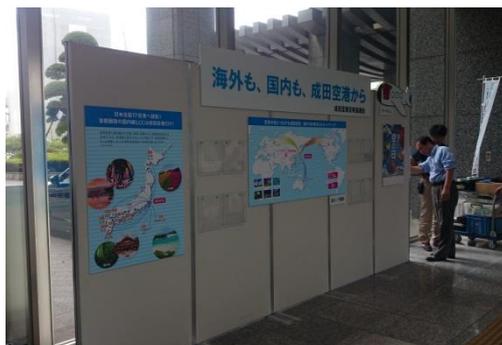
【対象】県庁来庁者及び県庁職員

- ・9月20日の「空の日」にちなみ、成田空港PRパネルやパンフレットなどの展示を実施し成田空港の持つ国際・国内ネットワーク、成田空港でのショッピングや空港での過ごし方などをPRした。



パネルデザイン





展示の様子

③成田空港内パネル展示

【時期】平成27年10月12日（月）

【場所】成田空港第2旅客ターミナルビルB1階

【対象】成田空港来港者及び千葉県プレミアム宿泊券購入者

- ・千葉県の実施する「千葉県秋の観光キャンペーン」に合わせて、空港利用者に対して成田空港のネットワークをPRするパネル展示を実施。
- ・同キャンペーン中に千葉県プレミアム宿泊券を販売があり、空港利用者だけでなく、宿泊券を購入するために空港を訪れる近隣の住民に対してもPRした。

④県民だよりへの広告掲載

【時期】平成27年11月号（11月5日発行）

【発行部数】約210万部

【対象】千葉県全域

- ・広く県民に向け、国内線を中心に成田空港の持つ豊富なネットワークをPRした。



デザイン

⑤千葉県中央旅券事務所におけるプロモーション

【時期】平成27年11月29日（日）、12月6日（日）

【場所】千葉県中央旅券事務所

【対象】パスポート交付者（2日間で314人が登録実施、400名に成田空港PRチラシを配布）

- ・法務省入国管理局の協力を得て、自動化ゲートの出張登録及び成田空港の利用促進に向けたPRを実施した。
- ・平成28年3月30日より旅券事務所入口において成田空港のPRパネルを設置した。



自動化ゲート登録の様子

⑥県内成人式におけるプロモーション

【時期】平成28年1月9日（土）～1月11日（月）

【場所】千葉県内 協力会員45市町村 成人式会場

【対象】新成人 約38,000人

- ・新成人に対するお祝いメッセージとともに、会員航空会社の航空券等が当たるプレゼントキャンペーン紹介のチラシを配布した。



デザイン

⑦千葉都市モノレールへの広告出稿

県民向けに旅行需要の喚起につながるようなデザインで、多くの人の目を引くようにするとともに、成田空港の国内・国際ネットワークをPRする。

【時期】平成28年3月25日（金）～3月31日（木）

※デザイン、ラッピングシートの制作

平成28年4月2日（土）～平成29年3月31日（月）

※出稿期間

【対象】千葉県民（モノレール利用者や沿線を通られる方）

2 首都圏向け利用促進プロモーション

①東京スカイツリーでのプロモーション活動

【日時】平成27年12月4日（金）～12月10日（木）※10時～18時

【場所】東京スカイツリー5F出口フロア

「Beautiful NIPPON」全国観光PR コーナー

【対象】東京スカイツリーを訪れた観光客7日間で3,000名

※うち、2,830名の方がクイズ・アンケートに参加

- ・沖縄県・鹿児島県、奄美市と共同でプロモーションを実施。
- ・成田空港からLCCを含め多くの航空便が就航しており「お得に」「気軽に」出かけられることを知ってもらい、利用してもらうことを目的に、パネルやチラシなどでPRした。
- ・クイズ及びアンケート回答者には国内航空券があたる抽選会に参加いただくことで、確実な訴求を実現した。



プロモーションの様子

②JPタワー「KITTE」でのプロモーション活動

【日時】平成27年11月30日（月）11時30分～13時30分

【場所】JPタワー「KITTE」地下1階 東京シティアイパフォーマンスゾーン
千葉県アンテナショップ「ちばI・CHI・BA」

【対象】丸の内周辺に勤務するサラリーマンやOL 約200名

- ・出張や旅行などで成田空港を利用してもらうことを目的にパンフレットの配布や抽選会を行い、首都圏から成田空港への充実した交通アクセスや豊富な就航先についてPRした。



プロモーションの様子

【参画会員】

アイベックスエアラインズ(株)、京成電鉄(株)、京成バス(株)、(公財)航空科学博物館、ジェットスター・ジャパン(株)、春秋航空日本(株)、全日本空輸(株)成田空港支店、成田国際空港(株)、日本航空(株)、日本旅行(株)、バニラ・エア(株)、ビー・トランセホールディングス(株)、東日本旅客鉄道(株)千葉支社、千葉県、45市町村会員、

[メディア露出] 7件

- 新聞 日本経済新聞（7月23日）
読売新聞（7月28日）
千葉日報（8月2日）
朝日新聞（11月30日）
沖縄タイムス（12月6日）
琉球新報（12月6日）
- テレビ チバテレビ（11月29日）

[総括]

- 県民向けの利用促進キャンペーンでは、旅券事務所や県庁、モノレール利用者など様々な機会において、成田空港の国際・国内線ネットワークを中心としたPRを実施し、利便性が向上している現状を認識してもらい、成田空港が“our airport”であることの意識を強く持っていただくことで、出張、レジャー等に利用されるようPRした。
- 首都圏において実施した、スカイツリー、KITTEでのPRイベントでは、ともに日本全国からの観光客・ビジネス客が集まってくることから、日本全国の方に対して成田空港のPRを行うことができた。
- 東京スカイツリーや成人式で実施したアンケート結果では、成田空港の国内路線に対する認知度が低いという結果や、空港についての情報を得る機会が少ないとの結果が得られた。今後も様々な機会を捉えプロモーションを継続実施していく必要がある。

ウ 会員向け利用促進

会員向け成田空港利用促進キャンペーン

会員に実際に成田空港を利用し、成田空港の利便性や豊富な国内線ネットワークを知ってもらうことで、成田空港が“our airport”であることの認識を持っていただき、今後、積極的に成田空港を利用していただくため、会員エアライン及び旅行会社と連携して、既存の旅行商品に会員向け特別割引を付加した商品を造成した。

Jetstar 15.10/1 ~ 16.3/30 発
成田発 エース/JR 首都圏発
成田発 13,000円~40,700円
北海道・四国・九州・沖縄
往復の航空機 + ホテル・旅館
おひとり様からお申込OK!

日次	出発	到着	経由	戻り
初日	成田空港発	17時	各空港	各地(印)
中日	(終日フリータイム)			各地(印)
最終日	各地	各空港	成田空港	成田空港

お申込のご案内 ※ 諸費も必ずお読みください
 ① 出発日の5日前17時までに申込ください。ただし出発日の5日前が土・日・祝日の場合はお申込締切が早まります。販売店までお問合せください。
 ② P.4のごとく温泉・旅館・宝荘ホテル、ホテル各施設はとも代金の設定があります。その他の宿泊施設はとも代金の設定はございません。6歳以上11歳以下は小と同等となります。予約ご了承ください。
 ③ 12歳以上18歳以下は未成年のみの利用となります。
 ④ 未成年を必要とする施設(0・1歳)はご予約時に生年月日が必要となります。
 ⑤ 団体指定はできません。 ⑥ 出発時刻の50分前までに集合ください。
 ⑦ 無料での飲料機内サービスはありません。 ⑧ 身分証明書を必ず持参ください。

成田空港活用協議会会員の皆様へ
2016.11/1~2016.3/25迄有効な申込の場合、おひとり様5,000円(税別)の特別優待あり
Vanilla Air
札幌
9,800円~49,200円
2015.10/27~2016.3/25 発
下記6社のホテルより好きなホテルが選べます (各社のお申込OK)

ホテル京福札幌	ホテルタインスディ
ホテルグレイスリー札幌	ホテルロイヤルホテル札幌
KITA HOTEL	イビスタイル札幌

成田空港発着のLCCを使った会員向け旅行商品

[展開]

- 個人向けに北海道、四国、九州、奄美大島、沖縄に運航しているLCCを使った既存の旅行商品（航空券+ホテルのWEB専売パッケージ商品）を会員旅行会社及び航空会社の協力を得て、協議会会員向けにアレンジし、協議会会員の利用促進を図った。
- 社員旅行等で利用できる団体向けの割引プランも用意した。
- 対象期間を平成27年11月1日～平成28年3月31日まで5か月間とし、一定の予算枠のもと、協議会会員一人当たり5,000円（10人以上の団体旅行には、50,000円）をキャッシュバックする仕組み。

[参画会員]

近畿日本ツーリスト(株)、京成トラベルサービス(株)、(株)JTB コーポレートセールス、(株)日本旅行千葉支店、ジェットスター・ジャパン(株)、バニラ・エア(株)

[総括]

- 昨年度に比べ、多数の旅行先（1都市→9都市）を用意したり、利用期間を長くするなど、会員の利用促進を図ったが、利用者数が伸びなかった。今後、会員企業・団体の従業員に広く利用していただけるような方策を検討する必要がある。

(3) ビジネス支援事業

ア 経済活性化セミナー

第1回県内経済活性化ビジネスセミナー

平成26年度に実施した外国人旅行者等を対象として嗜好や周遊動向等を調査した「インバウンド調査」の調査結果を報告するとともに、更なる増加が見込まれる訪日外国人旅行者の千葉県への誘客促進に向けた取組について、「外国人旅行者等を対象としたインバウンド動向調査～調査結果の概要と課題・取組方向～」と題したセミナーを、平成27年度総会に併せて実施した。



セミナーの様子



講演する小松部長

[展開]

日時：平成27年5月12日（火）※総会終了後

場所：三井ガーデンホテル3階「平安」

- 本セミナーでは、「外国人旅行者等を対象としたインバウンド動向調査～調査結果の概要と課題・取組方向～」と題して、調査を受託した株式会社ちばぎん総合研究所の小松調査部部長が講演を行った。
- セミナーでは、調査結果の概要を説明し、次回の来訪目的を分析したうえで、外国人の来訪目的に応じた取組の方向性を提示するとともに、統一的な情報発信の重要性を訴えた。
- また、他県でのバリアフリー事例を取り上げるなど、外国人に対するおもてなしと併せて、高齢化先進国としての日本についても紹介した。

[メディア露出] 4件

□新聞 読売新聞（5月16日）

千葉日報（5月22日、25日）、日刊工業（5月29日）

[参加者等] 132名

□会員 89団体(社) 128名

□協力施設 4施設4名

[アンケート結果]

○セミナーの内容について

- | | |
|---------------|-------|
| ・大いに参考になった | 28.6% |
| ・ある程度参考になった | 64.3% |
| ・どちらともいえない | 7.1% |
| ・あまり参考にならなかった | 0.0% |
| ・参考にならなかった | 0.0% |

[主な意見]

- ・外国人の特性・ニーズが分かった、外国人の視点による地域の魅力を認識することができた。
- ・調査結果を基にした考察が参考になった、観光資源を持つ自治体には参考になる。
- ・観光資源が少ない地域におけるアピールポイントの設定の考え方を知りたい。
- ・実施時期、標本数についての偏りがあるのではないか、継続して調査を実施する必要があるのではないか。

[総括]

- 本調査の実施については、市町村、観光事業者等に基礎資料を提供することが出来た点、外国人のニーズ・外国人視点における地域の魅力について認識する機会を設けられた点など、一定の意義があった。
- 一方で、サンプル数や回収したサンプルの偏りについて指摘もあり、実施時期・協力施設の選定・ノベルティの提供方法等サンプルの回収方法等に課題が残る。
- セミナーについては、総会後に実施したため、多くの会員に参加をいただくことができた。
- また、協議会ならではのテーマやより多くのセミナーの開催を求める意見があったため、今後の課題としたい。

第2回県内経済活性化ビジネスセミナー

平成27年6月7日に圏央道の神崎IC-大栄JCT間が開通し、北関東・東北から成田空港・千葉県へのアクセス、利便性が向上した。これを契機として圏央道の意義・効果や未開通区間（大栄JCT-松尾横芝IC）の早期整備の必要性について考える機会として、『ぐっと近く！もっと気軽に！より便利に！～圏央道とつながる成田空港～』と題してセミナーを実施した。

また、時間短縮効果等を体感するためのバスツアーも併せて実施した。



石井会長による冒頭挨拶



茨城県 前田課長による講演



視察の様子：道の駅「発酵の里こうざき」



視察の様子：成田ゆめ牧場

[展開]

日時：平成27年6月30日（火）

場所：つくば国際会議場

- セミナーでは、第1部として国土交通省関東地方整備局道路部道路課企画官の鹿角氏から「圏央道と北千葉道路の整備の展望と活用について」と題した講演が行われ、圏央道の持つ様々な機能や整備状況について語られるとともに、開通直後に現れた効果など最新情報が紹介された。

- 第2部として、茨城県企画部地域計画課長 前田氏、(株)常陽産業研究所地域研究部担当部長 海老原氏から「いばらきから見た圏央道開通のインパクト」と題した講演が行われた。

前田氏からは茨城県が実施する企業誘致の取組や外国人の誘客の取組等について紹介があった。また、海老原氏からは圏央道開通による産業立地、観光振興等への期待の高さが語られた。

- 同時開催したバスツアーでは、平成27年4月に神崎IC付近にオープンした道の駅「発酵の里こうざき」と下総IC付近にある成田ゆめ牧場（会員施設）を視察し、圏央道開通に伴う変化についての実感を伺った。

[メディア露出] 7件

- 新聞 日刊カーゴ（6月16日）、日経新聞（6月18日）
茨城新聞、常陽新聞、千葉日報、日刊工業（7月1日）
- テレビ NHK（6月30日）

[参加者等] 94名

- 会員 42団体（社）90名
- メディア 4名
- 協力施設 2施設

[アンケート結果]

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ○セミナーの内容について | ○圏央道の開通効果について |
| ・大いに参考になった 30.4% | ・大いにわかった 54.3% |
| ・ある程度参考になった 69.6% | ・ある程度わかった 45.7% |

[総括]

- 成田空港と圏央道がつながった時機を捉えてセミナー・バスツアーを実施したため、会員の関心も高く、圏央道開通の意義・効果について、会員に強く印象付けることができた。
- 国、茨城県、民間シンクタンクとそれぞれの立場から圏央道開通について講演をいただくことで、会員に対して多岐にわたる情報を提供することができた。また、バスツアーでは時間短縮効果を実感してもらうとともに、近接する民間施設を視察することで民間における期待の高さも確認することが出来た。
- 千葉県内の未開通区間についても、早期開通が必要であると多くの会員が認識したため、今後、早期開通を求める機運が醸成されていくのではないかと見られる。
- 圏央道延伸を契機としてより近くなった茨城県と、今後、協力・連携していくことで、地域の活性化を図っていく必要がある。

イ マーケットリサーチ

成田空港圏における物流動向調査

協議会設立以降、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、TPPの大筋合意及びアベノミクスの進展などの大きな環境変化があり、これらの変化が成田空港を取り巻く物流や人流に与える影響は大きいものと考えられる。

そこで、成田空港圏における物流業界の現状について、統計分析やアンケート等を実施することで圏内の経営者のビジネスマインドの変化や今後の物流マーケットの方向性などを明らかにし、将来の物流業界のビジネスチャンスを考える基礎データとするために実施した。

※成田空港圏…成田空港を有する千葉県及び千葉県に隣接する東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県をいう。

[展開]

- 本調査では、物流業界における近年の状況の変化を客観的に分析する統計分析調査と、近年の状況における企業の意思を確認することでビジネスマインドの変化を捉えようとする企業アンケート調査を行うことで、将来の物流業界のビジネスチャンスを考える基礎データとすることを目的としている。
- また、会員自治体に対して、企業誘致の取組等を調査することで、企業側の事業所の移転・拡大等のニーズに対する自治体の意識・制度を確認した。

➤ 統計分析調査

目的： 県内の物流業界の事業所数・従業者数の経年変化やマーケット規模、最近の物流施設の立地の特徴などを統計データの分析により、明らかにする。

対象： 経済センサス（一部事業所・企業統計調査も含む）、県民経済計算、千葉県統計年鑑など

項目： 事業所数、従業者数、貨物輸送実績、市場規模、雇用環境など

➤ 企業アンケート調査

目的： 成田空港圏の企業の業況や立地環境の満足度、物流戦略の方向性を把握・対比することで、県内の物流環境のポテンシャルを明らかにする。あわせて、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催やTPP発効、アベノミクスの進展が成田空港圏の企業の業績及び成田空港の物流・人流に与える影響をとらえ、今後の企業のビジネスチャンスを検討する基礎データとする。

対象： 10,000社（業種：運輸業、製造業、卸・小売業等）

所在地の内訳：千葉県6,000社

東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県各1,000社

※有効回答数1,054件（有効回答率10.5%）

項目： 属性、経営状況、物流体制、環境変化とその業績への影響等

➤ 企業誘致アンケート調査（自治体向け）

目的：企業アンケート調査における企業側の事業所の移転や拡大に対して、自治体側の意識や取組の確認。

対象：成田空港活用協議会会員市町村（47市町村）

※回答数36市町村

項目：企業誘致の取組状況、優遇制度など

[参画会員]

㈱ちばぎん総合研究所、成田国際空港㈱、千葉県

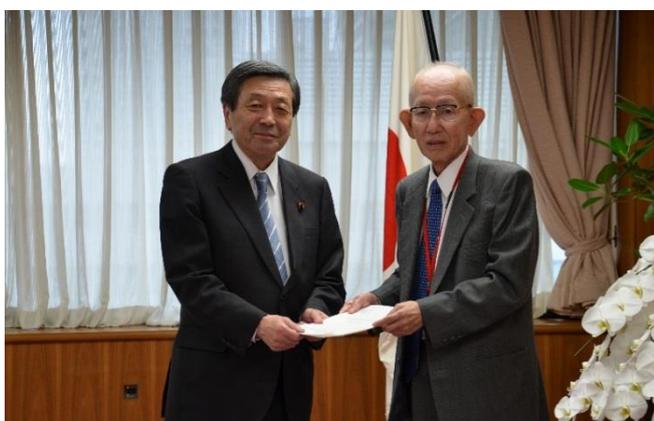
[総括]

- 東京オリンピック・パラリンピックの開催をはじめとする大きな環境変化は物流、人流に大きく影響を与えることになると予想され、成田空港を有する本県や本県に隣接する他都県への影響を調査することは、今後のビジネスチャンスにつながるものである。
- 統計分析調査から、「成田空港周辺地域」「圏央道と外環道に囲まれた地域」「アクアライン接岸地域」と県内各地域に運輸業の事業所が増加しており、圏央道の整備・進展が進むことで、各地域が結ばれ、発展する可能性が期待できるため、圏央道等の整備・進展についての要望を継続する必要がある。
- 企業アンケート調査については、有効回答率が10%を超えるなど、対象企業の関心も高く、時機を捉えたものであった。また、回答内容においては、物流施設の新設・拡大を検討する企業も存在しており、本県への誘致なども期待できる。
- 大きなトピックスである東京オリンピック・パラリンピックの開催については、地域経済にとってプラス要因と捉えられていることが分かるなど、大きな環境変化がビジネスチャンスにつながる事が分かる。そのため、本調査結果をセミナーなどで会員間に周知することで、県経済の活性化につなげていく必要がある。

(4) 要望活動

首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

第3旅客ターミナルビルの供用開始や圏央道神崎～大栄間の開通等により、ますます高まっている成田空港のポテンシャルを最大限に活かし、県内はもとより首都圏に波及させるためには、交通網の整備が極めて重要であり、その基幹インフラとなる首都圏中央連絡自動車道（圏央道）と北千葉道路の一日も早い開通が不可欠であることから、整備推進等について千葉県及び県内関係2団体とともに平成27年11月20日（金）に国に対して要望活動を実施した。



林経済産業大臣への要望



国交省道路局長への要望

要望活動の様子

[展開]

- 本協議会会長を要望者として、千葉県及び県内関係2団体（千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟、首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議）とともに、国等に対して要望活動を実施。

〈要望先〉

- ・ 財務大臣、財務副大臣、財務大臣政務官、財務事務次官 ほか8名
- ・ 経済産業大臣
- ・ 国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官、国土交通事務次官、道路局長 ほか21名
- ・ 県選出国會議員

《要望内容》

- 1 圏央道の一日も早い全線開通を図ること。
 - ・大栄から横芝間については、用地取得を確実に進め、事業を推進し、一日も早い全線開通を図ること。
 - ・暫定2車線区間については、早期に4車線化に着手し、一日も早く完成させること。
 - ・圏央道のストック効果をより高めるインターチェンジへのアクセス道路が確実に整備されるよう予算の重点配分を行うこと。

- 1 北千葉道路の早期整備を図ること。
 - ・印西市～成田市間の13.5kmについて、一日も早い完成に向け、より一層の事業推進を図ること。
 - ・国道464号の全線を直轄管理区間とすること。特に、西側区間（小室IC以西）を速やかに直轄管理区間とすること。
 - ・西側区間（小室IC以西）について、早期に直轄事業として整備すること。特に、市川市～鎌ヶ谷市間はすみやかに計画を具体化し、できる限り早期に事業化すること。

- 1 国土強靱化、地方創生を実現し、地域経済に好循環をもたらすストック効果を早期に発揮させるよう、圏央道及び北千葉道路といった民間投資を誘発するストック効果の高い道路事業をより推進するため、積極的に平成27年度の補正予算を確保すること。

また、平成28年度は道路予算全体を増額し、計画的かつ着実な進捗を図るため、必要な予算を確保すること。

[メディア露出] 2件

- 新聞 日本経済新聞（11月21日）
千葉日報（11月21日）

[総括]

- この2つの道路は、成田空港の利便性向上や成田空港の経済効果を千葉県全体、首都圏全体に波及させるために不可欠な基幹インフラであることから、今後も引き続き要望活動を続けていく。

(5) 会員提案の募集・具体化

○ 会員提案の募集

圏央道等の交通インフラの整備進展と併せて、利便性がますます向上する成田空港を活用して、本県の経済活性化につながる取組として、平成27年度事業展開方針(案)の中で、協議会と連携・協働したい事項に係る提案及び協議会事業全般についての自由意見を募集した。

《主な提案》(提案件数15件)

- ・成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業が本格運行につながるようなPR・情報発信
- ・圏央道沿線における千葉県の特産品のPR
- ・企業立地における会員企業と自治体の交流・意見交換の場の提供
- ・会員同士の交流・協働に向けた場づくり
- ・就航先との地域間交流
- ・圏央道沿線におけるイベントのPR
- ・成田空港親子見学バスツアー(つくば)の実施
- ・インフルエンサーとメディアを利用した情報発信の実施

○ 会員提案の検討・具体化(平成27年度事業への取り入れ)

平成27年度事業計画に位置付けられている以下の事業に、会員提案を取り入れ実施した。

- ・北海道・千葉パークゴルフ交流大会及びモニターツアーの実施(H26提案)
- ・沖縄・奄美と地域間連携して実施したスカイツリーにおけるPRイベント
(H27提案)
- ・千葉県高速バス実証運行事業と連携した空港利用促進事業の実施(H27提案)
- ・成田空港親子見学バスツアー(つくば)の実施(H27提案)
- ・ランドオペレーターとの商談会の実施(H26提案)
- ・インフルエンサーとメディアを利用した情報発信の実施(H27提案)
- ・圏央道沿線でのプロモーションにおける千葉県の特産物のPRの実施
(H27提案)
- ・圏央道沿線でのプロモーションにおけるラジオを使った告知等の実施
(H27提案)

(6) その他

- 協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースはもとより各種メディア媒体の利用や報道機関へのアプローチを展開することにより、メディアへの露出を積極的に図った。

《プレスリリース実績》 16件

(平成27年)

- 5月 8日 「平成27年度成田空港活用協議会総会及び第1回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催について」
- 6月15日 「第2回県内経済活性化ビジネスセミナー『ぐっと近く！もっと気軽に！より便利に！～圏央道とつながる成田空港～』の開催について」
- 7月22日 「千葉県高速バス実証運行事業連動企画『成田空港を使って旅に出よう！～国内線往復航空券をプレゼント～』」
- 8月31日 「学生連携企画「女子旅で！成田ブームを巻き起こせ！！」『全体ミーティング及びLCCとの意見交換会』取材のご案内」
- 9月 2日 「「より近く！より便利に！成田空港」～茨城県、群馬県のイオンシネマで成田空港のCMを放映します～」
- 9月11日 「「海外も、国内も、成田空港から」～「空の日」に合わせて成田空港PRを実施します。～」
- 10月30日 「『ぐっと近く！もっと気軽に！より便利に！～圏央道とつながる成田空港～』北関東における成田空港利用促進プロモーションの実施について」
- 11月25日 「圏央道開通特別企画『成田空港親子見学バスツアー』の実施について～北関東における成田空港利用促進プロモーション～」
(2件) 「☆千葉県民向け成田空港利用促進キャンペーン☆～千葉県中央旅券事務所にて自動化ゲート出張登録&成田空港利用促進プロモーションを実施します！！～」
- 12月 2日 「ランドオペレーターとの「商談会・交流会」の実施について～アジアからの観光客の更なる増加を目指します～」
(2件) 「「成田空港から沖縄・奄美へ行こう！！」～知って驚き！見て感動！キャンペーンを東京スカイツリーにて実施します！」

(平成28年)

- 1月 7日 「成田空港から今しかできない旅をしよう～千葉県内成人式連動キャンペーンについて～」
- 1月 8日 「学生連携事業【女子旅×成田LCC】『つぼみ女子』のための完全サポートブックの完成及び学生による広島・札幌プロモーションに向けた森田知事への表敬訪問について」
- 1月19日 「成田空港活用協議会学生連携事業【女子旅×成田LCC】関東の学生による広島でのプロモーション活動について～広島学生との意見交換会も実施します～」
- 2月12日 「成田空港活用協議会学生連携事業【女子旅×成田LCC】 関東の学生による札幌でのプロモーション活動について～関東の学生とLCC2社が札幌の学生との意見交換会を行います～」
- 3月 4日 「～成田空港を活用した北海道との相互交流事業第1弾～『北海道・千葉交流パークゴルフ大会 IN 千葉2016』の開催について」

《広告等掲載実績》6件

(平成27年)

- 4月27日 日刊工業新聞（空港利用促進）
- 6月 7日 千葉日報新聞（空港利用促進）
- 10月25日 パークゴルフ新聞（誘客促進、ツアー予告）
- 11月 5日 県民だより（空港利用促進）
- 11月 7日 筑波大学祭パンフレット（空港利用促進）
- 12月25日 パークゴルフ新聞（誘客促進、ツアー募集）

(平成28年)

- 2月29日 日刊工業新聞（協議会の紹介）

《PR媒体等の制作》

- | | |
|----------------------|---------|
| ・協議会パンフレット | 500部 |
| ・協議会クリアファイル | 2,000部 |
| ・イベント景品用Q u oカード | 800枚 |
| ・イベント配布用協議会ウェットティッシュ | 5,000個 |
| ・女子旅×成田LCCサポートブック | 30,000部 |
| ・女子旅×成田LCCクリアファイル | 500部 |
| ・つくば市でのイベント折り込みチラシ | 90,000部 |
| ・成人式キャンペーン用配布チラシ | 30,000部 |
| ・無料高速バス実証実験国内線PRチラシ | 10,000部 |
| ・スカイツリーイベント配布チラシ | 3,000部 |

- 協議会の会員向けにメール等での情報発信をさらに強化し、会員間における活動状況や成果の共有を図った。(平成27年度メール発信数35件)

- 会員が主催するイベントに対する後援や、会員によるプロモーションと連携・連動し、協議会及び協議会会員のPRを行った。
 - ・成田国際空港(株)主催 宇都宮における国内旅行PRイベントへの参加(再掲)
実施日：平成27年9月21日(月・祝)
会 場：栃木県宇都宮市 ベルモール1Fカリヨンプラザ
 - ・成田国際空港(株)と春秋航空日本(株)が参加したプロモーションとの連携
「広島空旅!2016」への参加(再掲)
実施日：平成28年1月23日(土)、24日(日)
会 場：紙屋町シャレオ中央広場
 - ・(株)幕張メッセの主催するJAPAN HALAL EXPO 2015の後援
実施日：平成27年11月25日(水)、26日(木)
会 場：幕張メッセ 国際会議場

- 会員による積極的な成田空港利用を促す取組として、既存の旅行商品に特別割引を付加した会員向け旅行商品を作った。(再掲)